



#### CMXプロジェクト(基盤強化型)共通講座

# 『組織・人事プロフェッショナル養成講座』

~ 企業内組織開発・変革人材育成プロフェッショナルの輩出 ~

第4期講座

第2期、第3期ともに人気の高い講座です。皆さまの関心が高い、組織・人事の課題解決のプロフェッショナル養成、人材育成、能力開発、社員評価、人事戦略、組織改革、リーダーシップなど、理論とワークを通じて幅広く学びます。

「当社の従業員は積極的でない」「言われたことはちゃんとやるけど、言われたこと以上はやらない」と嘆く経営者の方は少なくありません。

その一方で、「もっとリーダーシップを発揮してくれないと困るよ!」と言われる管理職の方や、「組織の風通しを良くして、問題が迅速に解決できる組織はどう作ればいいんだろう…?」と頭を抱えることもあるでしょう。

経営者や管理者の抱える組織や人事の課題は様々です。誰しもが直面する、企業の成長にともない避けて

自由闊達な社風 動機づけ キャリアデザイン
社員の自発性・主体性 幹部育成
活き活きとした職場 マネジメントカ
中間管理職の役割 リーダーシップ

人事評価制度

能力開発

組織開発·設計

通れない<u>組織や人事の課題は管理職や人事部だけで解決できるものではありません。</u>また、他人事であってはならないものです。経営者から現場の皆さん、一人ひとりがやれることはたくさんあります。

本養成講座はCMXプロジェクト(基盤強化型)にご参加の各社が受講していただくことができます。

- ※:本講座は全6回のシリーズ講座です。各回個別単独でも参加可能です。
- ※:本講座の対象者は、部下を持つ中堅社員以上/人材育成に携わる管理職/人事関連部門とします。

### ■講座の目的と狙い

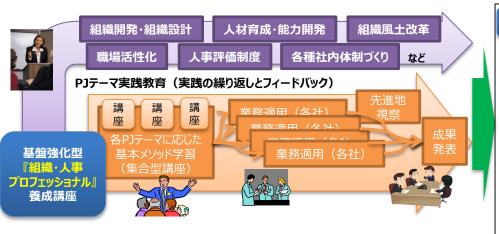
"個"の自発性や動機づけはどうすればよいか、"組織"として理想的な状態とはどういうことか? 会社の将来を担う人材を早期に育成し、また若手を育てていくという好循環サイクルを回すことが重要です。今や人材育成は人事部門だけでなく、職場や会社全体で取り組むことが求められています。

そのために必要な基礎知識を、自社で適用していくための勘どころを座学だけではなく、ワークや事例を盛り込みながら、体系的に学びます。

経営者以下、管理者層・中堅社員の皆さんが、組織マネジメント・人材マネジメントに必要な知識を有し、 今ある課題、そして将来遭遇するかもしれない課題に対して、自社と組織を成功に導くための第一人者となる ことを本講座の目的としています。

### ■プロジェクトの流れ(講座から個別フォローアップへ)

『組織・人事プロフェッショナル養成講座』 ハンズ・オン教育(フォローアップ)







個別フォローとして、平均毎月1回の頻度 で「企業訪問」を行います。

実際に現場を見せていただいたり、社内資料の閲覧、社員を交えてのディスカッションなど、より突つ込んだ内容に触れ、具体的なご支援を行います。我々からも必要な資料は積極的に開示・提供します。







## ■講座概要・全体日程(全6回シリーズ、各回定員15名)

		基礎	基礎知識			
内容抜	「指示待ち体質」で自ら動こうとしない社員ばかりと嘆く前に、自社の企業体質と組織風土について学びます。     強い組織の必要条件を踏まえたうえで、社員の自発性を育む組織マネジメントと必要条件について考えます。     コミュニケーションを阻害するセクショナリズム、部下の能力が発揮できない職場環境や人間関係などありませんか?     これらの課題を乗り越え、自ら考え行動できる社員を増やすポイントをお伝えします。	<ul> <li>企業組織における人事の役割を原点から学びます。人事や部門責任者、部下を持つ上司として知っておきたい基礎知識です。</li> <li>組織の機能と構造定義、業績へつなげるための動機づけと意思決定の仕組みをシステマティックに学びます。</li> <li>人事システムの役割を明確にし、人事評価制度の基本的な考え方と適材適所(採用と配置)について、基本的な考え方を身に付けます。他、アセスメントツールの効果的な活用方法についても延べます。</li> </ul>	<ul> <li>人材育成の基礎知識を学びます。人事だけでなく、部下を持つ人は知っておいて損はありません。具体的には以下のとおりです。</li> <li>人材育成基礎(キャリア、スキル、コンピテンシー等)・能力開発と人的資源管理・態度と行動、コーチングとメンタリング・キャリアアンカーとキャリアデザイン・動機づけとインセンティブ・機能するOJT構築</li> </ul>			
В	10月16日(金)	11月20日(金)	12月18日(金)			
-	10時 ~ 16時	10時 ~ 16時	10時 ~ 16時			
場	<b>听</b>	倉吉未来中心(セミナールーム6)	倉吉未来中心(セミナールーム5)			
	4企業変革を推進するリー	⑤ミドルマネジメントとチーム	⑥経営改革のための			
7-4	ダーシップ	ビルディング	人財戦略			
内容抜	部下とどう接したら良いかわからない、リーダーとしてあれこれ要求されるが、何を・どう変えれば良いのかわからない…等々、上司と部下の向き合い方は、今も昔も永遠の課題です。     企業組織を成功に導き、人が育り組織に引っる問題に対してはない。	The state of the s	・ 経営の観点から人的資源の活用と組織学習について学びます。また、人事施策として欠かせない昨今の人材マネジメントのトレンドについて、事例を交えてお伝えします。 ・ 経営理念と組織文化、企業の価値観と多様化する個人の価値観をどう自社の経営改革に活かすかを学びます。 ・ 事例(グローバル人材、ワークライフバ・ランス、ダ・イバージティ、タレントマネジ・メント等)			
	<ul> <li>部下とどう接したら良いかわからない、リーダーとしてあれてれ要求されるが、何を・どう変えれば良いのかわからない・・・等々、上司と部下の向き合い方は、今も昔も永遠の課題です。</li> <li>企業組織を成功に導き、人が育つ組織に引っ張り上げるリーダーとは何か、マネジャーとの違いを示しながら、人をどのように動かしていかのパワーバランスも踏まえながら学びます。</li> <li>さらに、企業が成長を遂げてゆくために、変革型のリーダーシップも求められ、ビジョンの示し方、コミュニケーションのあり方などを学びます。</li> <li>1月19日(火)</li> </ul>	・ 30代、40代のミドル・マネジメント層の役割は極めて重要です。経営幹部や次の世代を背負って立つ人材であり、若手からは見本・手本の率先垂範でなければなりません。ミドルが会社を変えていくことと、ミドル自身が変わることが重要です。 ・ 一方で、ミドルからすればいまどき世代の若者とコミュニケーションの取り方がわからず、困惑していることもあります。 ・ 世代を超えて、組織というチームとして成果を出すマネジメントやチームビルディングについて学び	<ul> <li>経営の観点から人的資源の活用と組織学習について学びます。また、人事施策として欠かせない昨今の人材マネジメントのトレンドについて、事例を交えてお伝えします。</li> <li>経営理念と組織文化、企業の価値観と多様化する個人の価値観をどう自社の経営改革に活かすかを学びます。</li> <li>事例(グローバル人材、ワークライフバランス、ダイバー</li> </ul>			
	<ul> <li>部下とどう接したら良いかわからない、リーダーとしてあれこれ要求されるが、何を・どう変えれば良いのかわからない・・・等々、上司と部下の向き合い方は、今も昔も永遠の課題です。</li> <li>企業組織を成功に導き、人が育つ組織に引っ張り上げるリーダーとは何か、マネジャーとの違いを示しながら、人をどのように動かしていくかのパワーバランスも踏まえながら学びます。</li> <li>さらに、企業が成長を遂げてゆくために、変革型のリーダーシップも求められ、ビジョンの示し方、コミュニケーションのあり方などを学びます。</li> </ul>	<ul> <li>30代、40代のミドル・マネジメント層の役割は極めて重要です。経営幹部や次の世代を背負って立つ人材であり、若手からは見本・手本の率先垂範でなければなりません。ミドルが会社を変えていくことと、ミドル自身が変わることが重要です。</li> <li>一方で、ミドルからすればいまどき世代の若者とコミュニケーションの取り方がわからず、困惑していることもあります。</li> <li>世代を超えて、組織というチームとして成果を出すマネジメントやチームビルディングについて学びます。</li> </ul>	<ul> <li>経営の観点から人的資源の活用と組織学習について学びます。また、人事施策として欠かせない昨今の人材マネジメントのトレンドについて、事例を交えてお伝えします。</li> <li>経営理念と組織文化、企業の価値観と多様化する個人の価値観をどう自社の経営改革に活かすかを学びます。</li> <li>事例(グローバル人材、ワークライフバランス、ダイバーシティ、タレントマネジメント等)</li> </ul>			

②企業組織と人事システムの

③人材育成のための

CMXプロジェクト(基盤強化型)に附帯して開催 ■実施形態:

■実施期間: 2015年10月~2016年3月(第4期)

■参加要件 CMXプロジェクト(基盤強化型)参加企業が受講いただけます。

CMXプロジェクト(基盤強化型)の参加者と異なっても結構です。 ■参加者

■費 用 プロジェクトに参加する企業は追加費用は不要で受講可能です。

#### ■マーシャル(各回講座、フォローアップ担当)

# 【世古 雅人(せこ まさひと)】 ITeCファシリテ

株式会社カレンコンサルティング 代表取締役

http://www.carren.co.jp

〒160-0004 東京都新宿区四谷四丁目24番地 御苑ハイム5F

TEL: 03-6457-4350 / FAX: 03-6457-4351

【略歴】

·武蔵工業大学(現 東京都市大学)工学部電子通信工学科卒業

・1987年:アンリツ株式会社入社。電子計測器のハードウェア設計に従事。 ・1988~1990年:通産省(現 経済産業省)管轄の半導体中央研究所に出向。光デバ イスの基礎研究に従事。その後10年間、アンリツにて開発業務を経て、経営企画部門に異動、全社組織活性化と現場改革の率先と仕組みづくりに注力。

・2003年:株式会社スコラ・コンサルト入社。組織風土改革、業務プロセスコンサルティング

に従事。

・2004年:株式会社ピーエイ入社。経営企画室長/管理部長。業務改革プロジェクト、新規事業の立上げに従事。(株)UML教育研究所執行役員兼任。OMG(USA)とソフトウェア組込み資格試験の開発に従事。

・2019年:株式会社カレシコンサルティング設立、同社代表取締役。企業の経営・業務コンサルティング、製造業の開発・マーケティング支援、人材育成等に携わる。 ・2014年:鳥取県CMXプロジェクト / ITeCファシリテータ

【共著】世古雅人、渡邊清香『上流モデリングによる業務改善手法入門』 (技術評論社) 【連載記事】

『"AI(人工知能)"はどこへ行った?』『いまどきエンジニアの育て方』 『無関心な現場で行う業務改善(シーズン2/1)』 『業績に効果が出る新しい組織風土改革の進め方』 <mark>他</mark> ・"EE Times Japan" ・技術評論社(gihyo.jp) ・月刊総務オンライン

■ サブ・マーシャル(第1回講座、フォローアップ担当)

### 【渡邊 清香(わたなべ さやか)】 ITeCアソシエイツ

株式会社カレンコンサルティング 取締役

http://www.carren.co.jp 〒160-0004 東京都新宿区四谷四丁目24番地 御苑ハイム5F TEL: 03-6457-4350 / FAX: 03-6457-4351

#### 【略歴】

·新潟大学経済学部経済学科卒業

がパッペナビバブコロペロティーデー ・株式会社ビーエイ:事業計画策定、IR業務(東証マザーズ、決算説明会/株主総会資料作成等)、社内業務コンサルティング、人事制度構築、文書管理システム構築、社内会 議体(経営会議、営業会議等)の運営等。

・株式会社テムズ : マーケティングコンサルタント、広告媒体の効果測定、マーケットリサーチ /アナリシス 等

【共著】世古雅人、渡邊清香『上流モデリングによる業務改善手法入門』 (技術評論社)

#### 【連載記事】

・アイティメディア "@IT自分戦略研究所" <u>『プロセスコンサルティングのススメ!』</u> 他

## CMXプロジェクト(基盤強化型)共通講座 第4期

# 受講申込書



申込日 平成 年 月 日

受 講 希 望 講 座 名	組織・人事プロフェッショナル養成講座									
回数・日にち ※:〇で選択	第1回 10/16(金)	第2回 11/20(金)		第3回 /18(金)	第4回 1/19(火)	第5回 2/16(火)		第6回 3/18(金)		
講座名称	企業体質と組 織風土	企業組織と人 事システムの 基礎		才育成のた 基礎知識	企業変革を推 進するリーダー シップ	ミドルマネジメン トとチームビル ディング		経営改革のための人財 戦略		
	※:本講座は全6回で内容全てを網羅する構成となっていますので、全回数の参加が望ましい。									
				部署名						
(ふりがな) 氏 名				役 職			年	蚧	歳	
				E-Mail						
(ふりがな)				部署名						
氏 名				役 職			年	蚧	歳	
※:複数名の場合				E-Mail						
	企業	名								
所属企業	住	所								
連絡先	電話番号: FAX番号:			-						
<b>備 考</b> ※:ご要望等、ご記 入ください。										

### 【問合せ・送付先】

鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会 中部支部

〒682-0018 倉吉市福庭町2-1

(鳥取県立産業人材育成センター内)

電 話:0858-27-5333 ファクシミリ:0858-27-5334

電子メール: sangyoujinzai-center@pref.tottori.jp